

エコドライブへの取り組みによる燃費改善効果の検証

区分	取組項目	平均燃費 (Km/l)		
		09年度	08年度	04年度
小型トラック (4t超～7t)	(1)グリーン経営認証の取得	6.89	6.52	6.02
	(2)燃費目標の設定	6.58	6.39	5.68
	(3)運行管理システムの導入	6.47	6.35	5.49
	(1)～(3)の取組未実施	6.34	6.05	5.59
中型トラック (7t超～8t)	(1)グリーン経営認証の取得	5.55	5.51	5.19
	(2)燃費目標の設定	5.39	5.30	5.03
	(3)運行管理システムの導入	5.36	5.31	5.20
	(1)～(3)の取組未実施	5.17	5.00	4.84
大型トラック (9t超～25t)	(1)グリーン経営認証の取得	3.60	3.56	3.57
	(2)燃費目標の設定	3.51	3.44	3.12
	(3)運行管理システムの導入	3.53	3.47	3.17
	(1)～(3)の取組未実施	2.75	2.56	2.99

神奈川県

トラック、エコドライブ調査

平均燃費3.2%改善も

グリーン経営など取り組み効果顕著

神奈川県、関東運輸局、神奈川県トラック協会が神ト協の会員企業から協力を得て、県内のトラック運送事業者におけるエコドライブの実施状況をまとめ、1日に公表した。トラックの燃費データやエコドライブの取組状況を収集・分析したものとっては大規模な調査となる。その結果、09年度の平均燃費は前年度比で小型トラックが3.2%、中型トラックで1.3%、大型トラック2.1%それぞれ改善したという結果になりエコドライブは燃費向上に効果があることを改めて実証した。

調査時期は2010年5月～6月(取集のデータは09年度と比較した場合、小多は09年度のもので、型トラックで6.26が30台以上の車両を使用する運送事業者173社を調査対象とした。そのうち回答した事業者数は225社(回収率48%)、報告された車両数は1万4629台だった。調査は小型トラック(車両総重量4t超～7t)、中型トラック(同7t超～8t)、大型トラック(同9t超～25t)の3区分に分けて平均燃費と改善率を算した。

調査時期は2010年5月～6月(取集のデータは09年度と比較した場合、小多は09年度のもので、型トラックで6.26が30台以上の車両を使用する運送事業者173社を調査対象とした。そのうち回答した事業者数は225社(回収率48%)、報告された車両数は1万4629台だった。調査は小型トラック(車両総重量4t超～7t)、中型トラック(同7t超～8t)、大型トラック(同9t超～25t)の3区分に分けて平均燃費と改善率を算した。

また、エコドライブを効果的に進める手法に「グリーン経営認証の取得」や車両単位もしくは事業所単位で「燃費目標の設定」する事業者、運行管理システムの導入」に取組む事業者数の割合が増加した。これら

分析対象車両全体の09年度の排出量と08年度排出量を比較した場合、CO₂(二酸化炭素)が2.7%減の25.4万トン、NOx(窒素酸化物)は同5.6%減の1560.1トン、PM(粒子状物質)は9.6%減の77.5トンと改善効果を推計した。

分析対象車両全体の09年度の排出量と08年度排出量を比較した場合、CO₂(二酸化炭素)が2.7%減の25.4万トン、NOx(窒素酸化物)は同5.6%減の1560.1トン、PM(粒子状物質)は9.6%減の77.5トンと改善効果を推計した。